

2024年6月23日(日)第22回定例総会

記念講演『今、障がい福祉は』に参加して

田口裕貴氏 社会保険労務士 NPO はるいろ理事 NPO 暮らしネット・えん監事

人材難や低い報酬に悩む障害福祉の現状とこれからの、重症心身障害児放課後等デイサービスにたずさわる立場からお話ししていただきました。

近頃、劣悪なケア内容や不正請求が明るみになって世間を騒がせている障がい者グループホームにつながるお話を聞きました。確かに我が地域でも障がい者グループホームが増えています。フランチャイズを含めて異業種からの参入が増えている、サービスの質がよくなかったり、専門的なサービスが提供出来ていなかったりと問題のある事業所が増えていることを日々実感しています。お話を伺い、なるほど!誰でも経営者になり、簡単に収入が得られるとインターネットで紹介されているのだと驚きと憤りを覚えました。

法人の理念でもある、高齢者や障がい者が安心して住み続けられることができる「地域づくり」を共に考えていくべき機会となりました。

(相談支援/菊池とみえ)

数年前、近所の放課後等デイサービスが事業所を閉じる事になり、行き先の無くなった子どもたちをどこにお願いすれば良いのかと頭を抱えた。が、閉業する事業所は、自分たちで預かれなくなった子どもたちの行き先を自分たちの責任として、他事業所に頭を下げ、決めて去って行った。最近のケースで言うと、重度の子どもたちが通所していた事業所が、トップが変わった事で方針も変更になり、利用者から見れば突然の閉業を「宣告」された形となった。保護者も相談支援専門員も、必死に事業所を探したが、未だに受け入れ先が決まらない子どももいる。

総会記念講演に参加し、「必要なサービスを必要な利用者に」が叶う地域にしていきたいという思いが、さらに強くなった。

(相談支援/初澤郁子)



2024年6月23日(日)記念講演